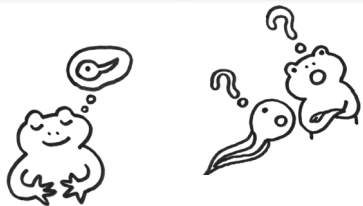


子どもが暮らしやすい町は、
おとなも暮らしやすい！
きっと



片山かおると いっしょにかえる 小金井の会

ご案内



片山かおると
いっしょにかえる小金井の会

〒184-0012 小金井市中町3-10-10-103
tel&fax: 042-316-1511
e-mail: office@katayamakaoru.net
http://katayamakaoru.net

応援します！.....

子どもや女性の目が求められている

鎌仲ひとみ (映画監督「ミツパチの羽音と地球の回転」
「内部被ばくを生き抜く」)

今、政治に足りないのは信頼と女性の視点。
政治家は誰のために働くのか？ 経済と命の両方を大事にできる道があるはず。そして新しい政治のあり方は権力や金ではなく市民との共同だと思えます。
その条件を満たす片山かおるさんを応援します！

まちを変えるために走り回ってきた人

上原公子 (元国立市長)

地方がしっかり自立して生きていく時代です。そのためには、市民が子どもの未来のために、まちに関わっていくことが必要です。
片山さんは、何よりそのために走り回ってきた人です。
束ねる力と実行力ある片山さんが市民の代表であることは、小金井市の財産です。

粘り強く誠実な活動こそが未来をつくる

山田 真 (小児科医)

昨年来、福島の人たちの支援を続けてきましたが、そこで片山さんの地味にそして着実に運動する姿を見てきました。2011年3月11日のあの惨事から2年も経っていないというのに、それを忘れてしまったかのように見える日本の現状の中で片山さんのような粘り強く誠実な運動スタイルこそが、未来を創り出す原動力になるはず。子どもたちに明るい未来を残すためにも、片山さんに再度活動の場を与えて下さることを小金井市民の皆さんに心から願います。

..... 私たちも応援しています！

矢島床子 (母と子のサロン 矢島助産院 助産師)

イトー・タリー (パフォーマンス・アーティスト)

雪子・F・グレイセング (創作家)

片山かおるといっしょにかえる 小金井の会 (かおるの会) へのお誘い

～みんなで知恵を出し合って、片山かおるとともに、
これからの小金井の町づくりを考えていきましょう～

かおるの会は、「平和」「人権」「民主主義」を基本理念に、市民参加で安心して暮らせる小金井市をつくるために活動しています。

会費は年1口2,000円。カンパも大歓迎！

郵便振替口座 00120-5-357785

片山かおるが たいせつにしたいこと

「平和」・「人権」・「民主主義」を
基本理念とします。

子どもの権利条約と条例を活かし、
子どもが自分らしく暮らせる地域にします。

小金井から平和な世界づくりを
発信します。

安心して暮らすために
地域のコミュニティを活性化します。

多様で自由な表現、文化、芸術を
応援します。

民主主義を深めるために男女平等な
市民参画制度を整え広報します。

放射能汚染や脱原発、地球温暖化への
小金井なりの取り組みを広げます。

だれもが暮らしやすい社会になるように、
市の支援体制を整えます。

* HP (<http://katayamakaoru.net>) の「めざすこと」をご参照ください。

原発のない平和な未来も選べるよ!



みんなといっしょに政治の場へ

2009年3月の市議会議員選挙から4年が経とうとしています。本当に多くの市民の方に支えていただき、なんとか議員活動が続けることができました。この間、図書館や学童や給食の民間委託問題、市民交流センターの取得問題、ごみ処理問題など、市政が大きく揺れ動く中で、ひとつひとつの問題について市民の方々と共に解決方法を探ってきました。

原発事故、市長選で、市民の力が試され方

そして、2011年4月の市長選では市民の力が結集し、市民派市長を誕生させることができました。3・11の原発事故が起こった、ひと月後です。社会全体が「このままではいけない」という思いに満ちていました。

しかし、ごみ問題をめぐって議会は紛糾。佐藤市長は辞任に追い込まれました。私も自身も市長を支える力が不足していたのだと思います。

3・11以降、社会のあり方、政治の問題に目覚めた市民は多く、市議会にも大きな影響を与えました。議会基本条例制定への取り組み、市民が始めたインターネット中継から市議会主催の中継への移行など、より市民に開かれた議会にしようとしています。

これから私たちがやらなければならぬこと

原発事故が収束していない今、小金井という地域から、被災地、避難者への支援、エネルギーの転換、大量生産・大量消費・大量廃棄社会の見直しを発信していくことが必要です。

これまで取り組んできた、子どもの権利条例の充実、子どもの貧困対策とともに、再生可能エネルギーの活用や、ごみ問題の解決にむけてゼロウエスト宣言を行った自治体を参考に、市民主体でごみゼロに向けての取り組みを進めていきたいと思えます。私が4年前に掲げた基本理念は「子どもの権利とおとなの人權」「民主主義を活かす」「足もとからの平和」でした。これからも同じ思いで、多くの人たちと共に考え、共に学びながら歩んでいきたいと思っています。



プロフィール

片山薫(かたやま かおる)

1966年12月、長崎県生まれ。4歳から東京都杉並区で育つ。都立豊多摩高校卒業。1995年より小金井市在住。

中2、高2の男の子ふたりとパートナーと猫と共に前原町の古い木造借家を改造しながら暮らす。映画上映・配給が前の仕事。

2009年、市議会議員1期目に当選。厚生文教委員、総務企画委員、ごみ処理施設建設等調査特別委員、行財政改革調査特別委員、議会報編集委員などを務める。市民自治こがねい共同代表、片山かおるといっしょにかえる小金井の会、放射能問題に取り組む親たちと共に活動中。

市民自治をめざす三多摩議員ネット、自治体議員政策情報センター、緑の党、福島原発震災情報センター、全国フェミニスト議員連盟共同代表、「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワーク、福島原発告訴団・関東事務局、福島避難者こども健康相談会などにも参加。